

ご使用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

<水虫・たむし用薬> マイルゾンBTクリーム

水虫・たむしは、皮膚の角質層内に水虫菌(白癬菌)が寄生して起こり、特有の激しいかゆみと炎症を伴う疾患です。

マイルゾンBTクリームには8種類の有効成分を配合。1日1回の使用により、かゆみや痛みを伴う(水虫・たむしの)不快な症状を改善します。べたつかないサラッとしたクリームでジクジクした患部にお勧めします。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください。

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人

2. 次の部位には使用しないでください。

- (1)目や目の周囲、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膣等)、陰のう、外陰部等
- (2)湿疹
- (3)湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

- (1)医師の治療を受けている人
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3)乳幼児
- (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (5)患部が顔面又は広範囲の人
- (6)患部が化膿している人
- (7)「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。)

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、熱感、落屑(フケ、アカのような皮膚のはがれ)、ただれ、水疱、乾燥感、ヒリヒリ感、亀裂

3. 2週間位使用しても症状がよくなり場合や、本剤の使用により症状が悪化した場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

裏面もお読みください。

用法・用量

1日1回、適量を患部に塗布してください。

<用法・用量に関連する注意>

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (4)本剤のついた手で、目や粘膜にふれないでください。
- (5)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (6)外用にのみ使用してください。

成分・分量 (100g中)

成分	分量	はたらき
ブテナフィン塩酸塩	1.0g	水虫菌(白癬菌)に優れた殺真菌作用を示します。
リドカイン	2.0g	局所麻酔作用により痛み、かゆみを抑えます。
グリチルレチン酸	0.5g	患部の炎症を抑えます。
クロタミトン	5.0g	かゆみを鎮めます。
dl-カンフル	1.0g	清涼感を与え、かゆみを鎮めます。
イソプロピルメチルフェノール	0.3g	殺菌作用により、患部の感染を防ぎます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.5g	抗ヒスタミン作用により、かゆみを抑えます。
l-メントール	2.0g	清涼感を与え、かゆみを鎮めます。

添加剤：ミリスチン酸イソプロピル、プロピレングリコール、ポリソルベート60、カルボキシビニルポリマー、パラベン、トリエタノールアミン 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)チューブの口に穴を開ける際にチューブを強く握り過ぎるとクリームが多く出る場合がありますのでご注意ください。
- (5)チューブの折り(尾)の部分から先端に向けて順に押し出してください。
- (6)折り曲げたり折りたたむと、チューブが破れて薬剤がとび出るおそれがあります。
- (7)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。

<水虫治療のポイント>

- 患部を清潔にしましょう。靴下や靴等も清潔なものを使用しましょう。
- 水虫菌(白癬菌)は、症状のある範囲より広がっていることが多いため、薬剤は広めに塗布しましょう。
- かゆみ等がなくなっても、完治していない場合があるため、根気よく治療を続けましょう。
- 患部がむれないように十分に乾燥させましょう。

お問い合わせ先
株式会社 富士薬品 (学術室)
電話 (048) 648-1118
9:00~17:30 (土、日、祝日を除く)

製造販売元
株式会社 富士薬品
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地